

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 25日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都府亀岡市大井町小金岐4丁目24

氏 名 パナソニック デバイスコンポーネント株式会社

代表取締役 西村 一弘

電話番号 (0771) -26-6321(代)

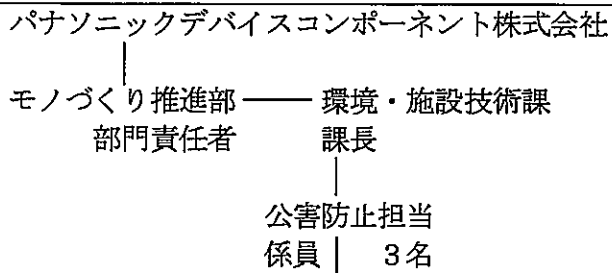
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック デバイスコンポーネント株式会社
事業場の所在地	京都府亀岡市大井町小金岐4丁目24番地
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	その他の電子部品製造業 【2899】
②事業の規模	年間販売高 98億円
③従業員数	394人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙—1 参照

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



- 特別管理産業廃棄物・保管管理業務
- 特別管理産業廃棄物・引渡管理業務
- マニフェスト発行・管理
- 産廃処理委託業者・契約管理業務

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	排出量	37.64 t	t
	（これまでに実施した取組） ・シアン化合物定量補充装置の設置による使用量の削減		
② 計画	【目標】（令和 3年度）		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ（有害）	
	排出量	38.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・新規設備導入時には、シアン化合物定量補充装置を設置する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・排出部署により排出廃棄物の名称、種類、重量、含有物質、排出日、排出部署、排出者名を記入した引渡し伝票と共に廃棄物を環境・施設技術課が引取り、同時に上記記入されたタックシールを環境・施設技術課の受付印を押印し、排出物に貼り付け、種類毎に分別区分した倉庫で保管する。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

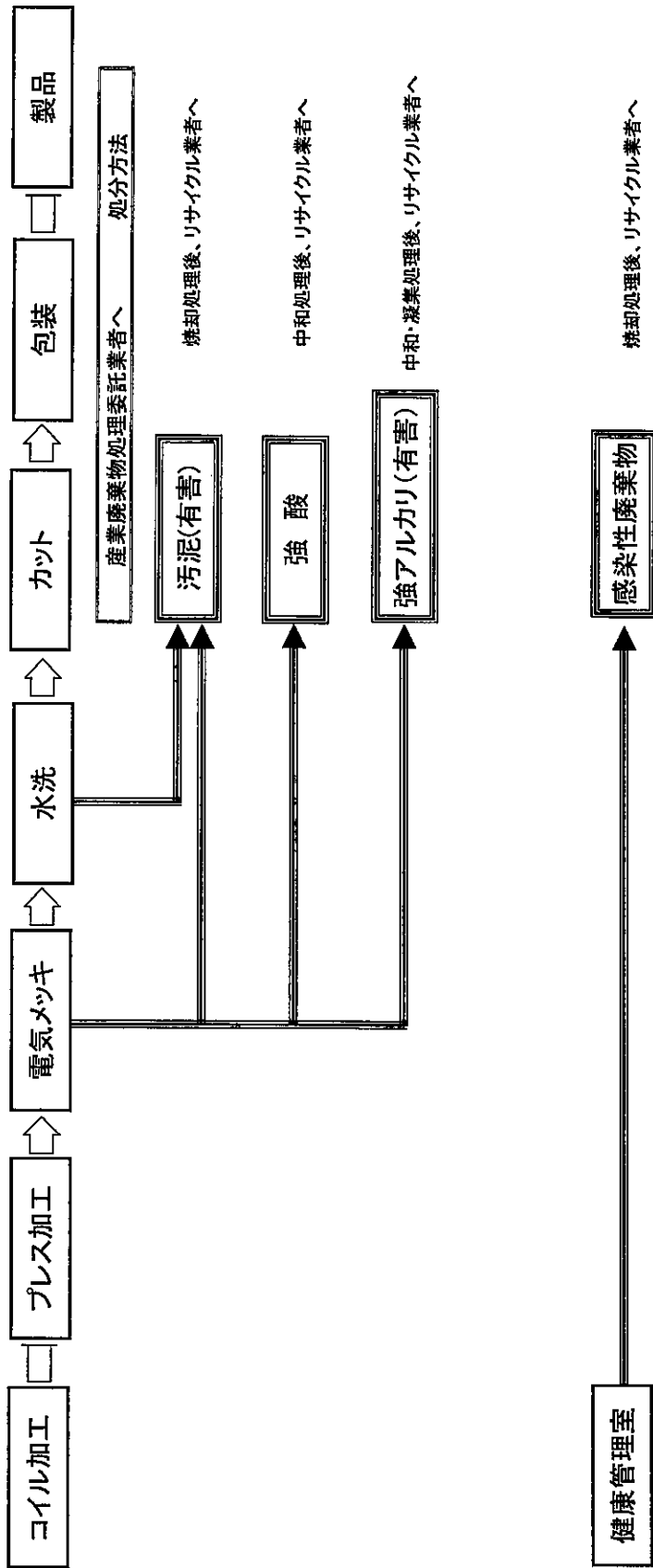
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和              2年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙-2のとおり	
	全処理委託量	別紙-2のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-2のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙-2のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・処理委託業者への現地立入調査及び優良認定への推奨。再生利用を行う業者を優先して採用する。		

② 計画	【目標】(令和 3年度)	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり
	全処理委託量	別紙-3のとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-3のとおり t
	再生利用業者への処理委託量	別紙-3のとおり t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組) ・新規処理委託業者選定は、再生利用を積極的に行い、優良認定取得および電子マニフェスト運用を優先項目とする。		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和2年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	110.937 t
(今後実施する予定の取組等) 既に全ての廃棄物にて電子マニフェストを運用。新規の処理委託業者との契約時には電子マニフェスト運用を原則とする。		
※事務処理欄		

【特別管理産業廃棄物発生・処理フロー】



産 業 廃 棄 物  
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物

別紙-2: 令和2年度\_実績

産 業 廃 棄 物・特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	令 和 2 年 度 計 画 (t/年)	実 績 値											
		産 業 廃 棄 物・特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 発 生 量 (t/年) ①	自 己 直 接 再 生 利 用 料 (t/年) ②	自 己 直 接 再 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 量 (t/年) ③	自 己 中 間 処 理 量 (t/年) ④	自 己 中 間 処 理 残 さ ざ 量 (t/年) ⑤	自 己 中 間 処 理 後、再 生 利 用 量 (t/年) ⑥	自 己 中 間 処 理 後 自 己 立 立 ち 海 洋 投 入 量 (t/年) ⑦	委 託 処 分 量 直 接 及 び 自 己 処 理 後 委 託 量 (t/年) ⑩	委 託 処 分 量 ⑩ の 中 ち 優 良 認 定 業 者 へ 委 託 量 (t/年) ⑪	再 生 利 用 業 者 へ の 委 託 量 (t/年) ⑫	熱 回 収 認 定 業 者 へ の 委 託 量 (t/年) ⑬	⑬ 以 外 の 熱 回 収 業 者 へ の 委 託 量 (t/年) ⑭
① 強アルカリ(有害)	37.700	37.640	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	37.640	37.640	37.640	0.000	0.000
② 強酸	63.500	70.670	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	70.670	70.670	70.670	0.000	0.000
③ 汚泥(有害)	3.160	2.627	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	2.627	2.627	2.627	0.000	0.000
④ 感染性廃棄物	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合 計	104.400	110.937	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	110.937	110.937	110.937	0.000	0.000

【排出量の増加理由】

・強酸の増加は、前年度末の排出が今年度へずれ込んだ為。

産 業 廃 棄 物  
産 業 管 理 特 別 産 業 廃 棄 物

別紙-3: 令和3年度計画

産 業 廃 棄 物・特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	令 和 2 年 度 実 績 (t/年)	計 画 値												
		産 業 廃 棄 物・特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 発 生 量 (t/年) ①	自 己 直 接 再 生 利 用 料 (t/年) ②	自 己 直 接 再 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 量 (t/年) ③	自 己 中 間 処 理 量 (t/年) ④	自 己 中 間 処 理 残 さ ざ 量 (t/年) ⑤	自 己 中 間 処 理 後、再 生 利 用 量 (t/年) ⑧	自 己 中 間 処 理 後 自 己 立 立 ち 海 洋 投 入 量 (t/年) ⑨	委 託 処 分 量 直 接 及 び 自 己 処 理 後 委 託 量 (t/年) ⑩	⑩ の うち 優 良 認 定 委 託 量 (t/年) ⑪	再 生 利 用 業 者 へ の 委 託 量 (t/年) ⑫	熱 回 収 認 定 業 者 へ の 委 託 量 (t/年) ⑬	⑬ 以 外 の 熱 回 収 業 者 へ の 委 託 量 (t/年) ⑭	
① 強7#加(有害)	37.640	38.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	38.000	38.000	0.000	0.000	0.000	0.000
② 強酸	70.670	71.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	71.000	71.000	0.000	0.000	0.000	0.000
③ 汚泥(有害)	2.627	3.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	3.000	3.000	0.000	0.000	0.000	0.000
④ 感染性廃棄物	0.000	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.040	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000
合 計	110.937	112.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	112.040	112.040	0.000	0.000	0.000	0.000

【排出量の増加理由】

・令和3年度の生産高計画は今年度並みの為、ほぼ同数を計画値とする。